

IUHW

The gazette of the International University of Health and Welfare

第5号

発行：学校法人国際医療福祉大学
編集：広報委員会 TEL 0287-24-3000 内線7115



大田原マラソン征す!

岡田謙君(作業)

川田路子さん(理学)

= 目次 =

	ページ		ページ
出来事	2	図書委員会	3
学長の日程から	2	図書館受入図書	3
大学来訪者	2	報告	4
講演会の開催	2	“カフカとカバラ”について	4
第1回「大谷学長と語りあう会」	2	清水教授に聞く	4
開かれる	2	大田原市より委託の在宅ケア	4
サークル“Club Nicol”主催、		ニーズ調査終了	4
講演「きいてみてはなして		学科・センターだより	4
みよう」を終えて	2	看護学科	4
お知らせ	2	“理学”	4
教務課から	2	大田原マラソン征す!?	4
学生室より	2	作業療法学科	4
入試事務室から	3	愛しい“MY耳型”完成!	4
委員会報告	3	放射線・情報科学科	5
教務委員会	3	教員紹介	5
学生委員会	3	サークル紹介	6
国際交流委員会	3	リレーエッセイ	6
紀要委員会	3	編集後記	6



出来事

◇学長の日程から

- *平成7年11月9日(木)
世界公衆衛生協会アジア地区会議
- *平成7年11月17日(金)
医療関連サービス振興会
- *平成7年11月18日(土)
「壬生獨協リハビリテーション談話会」特別講演
- *平成7年11月24日(金)
らい予防法見直し検討会(通産省)
- *平成7年11月27日(月)
予防医学事業中央会全国運営会議
- *平成7年11月30日(木)
精神障害者の社会復帰と社会参加を推進する
全国会議

◇大学来訪者

- *平成7年11月2日(木)
宮崎県企画調整課 渡辺主幹
- *平成7年11月8日(水)
北海道函館市議会
- *平成7年11月10日(金)
富士銀行 常務取締役 大谷氏
- *平成7年11月17日(金)
栃木、茨城、群馬県老人医療担当者会議
- *平成7年11月22日(水)
自衛隊中央病院
文部省 小林体育局長 彫刻家 西村先生
- *平成7年11月28日(火)
厚生省大臣官房統計情報部保健社会統計課長
植村氏
- *平成7年11月29日(水)
栃木県衛生環境部本庁及び出先機関の次長、
課長補佐

◇講演会の開催

日本の社会事情と医療 特別講師の来学
去る11月21日(火)に「日本の社会事情と医療」の授業の一環として、「マスコミから見た医療のあり方」をテーマに、特別講師として水巻中正読売新聞社解説部次長が来学しました。水巻氏はかつて、社会部記者として医療・福祉に関する数多くの取材に携わり、そこで培われた独自の見解を述べられました。出席した学生は興味深く聴き入り、これから自分たちが築いていく福祉社会のあるべき姿を深く考えさせられる内容でした。

◇第1回「大谷学長と語りあう会」開かれる

12月5日(火)夕方6時から1時間半の予定で行われました。参加者は、5学科から合わせて13名の学生と8名の若手教員が集まりました。ほとんどの学生が、学長と直接お話しをするのがはじめてということで最初は少し緊張気味でしたが、コーヒーやお菓子を飲みながらの語りいでなごやかな雰囲気で行われました。

話題の中心は、「共に生きる社会」とはどのような社会か、何が大切なのかを考えました。あっという間に予定時間が過ぎ30分延長して会を終わりました。皆さんも今度参加してみませんか。



◇サークル「Club Nicol」主催、講演「きいてみてはなしてみよう」を終えて

去る11月29日、E-101 教室にて骨髄移植および骨髄バンクに関する講演「きいてみてはなしてみよう」を開催しました。当日は、①講演「血液および血液に関する病気について」阿久津美百生医師②ビデオ上映③対談「骨髄移植および骨髄バンクの現状」清水透氏・大谷貴子氏④質疑応答という内容で、大谷学長のコメントまでいただきました。(大谷氏は学長の姪御さんです。)一般の人を含めて80名以上の人が参加し、アンケートの結果、ほとんどの人に骨髄移植について解ってもらえたようです。

お知らせ

◇教務課から

去る11月28日(火)に、本年度2回目の「愛の献血」が実施されました。当日は、総勢76名の学生、教職員が献血し、前回(7月7日)同様、なかなかの盛況ぶりでした。今後も機会を設けてゆきますので、更なるご協力をお願いします。(教員の皆さんの積極参加を期待します)

さて、冬休みも近づきクリスマスにお正月と楽しみもふくらみますが、平成7年度をしめくくる後期試験が1月16日より開始されます。前期の成績が優秀だった方、そうでもなかった方、一層の奮起を期待します。

◇学生室より

悪徳セールスに御用心!!

ここ大田原は、人口5万4千人足らずののんびりした街ですが、本学の開学を機に、一人暮らしの学生を狙った「悪徳」商法が目立ってきています。

学生室に報告があった事例では、幸い10万円単位といた大きな「被害」はないものの、「電話加入権を高く買い取ると聞いて、つい金を払ってしまった」「自分が知らないうちに新聞購読が契約されていた」「押しの強さに負けて、新聞を何紙もとっている」などの報告が寄せられています。

本学の学生の中には、一人暮らしは初めてという人も多いと思いますが、これらのセールスを寄せつけず、突っばねることも、社会生活の術(すべ)。ノックされてもドアを開けずに断わる。あまりしつこかったり恐ろしいと感じたら、ためらわずに警察に通報する一など、き然とした態度で臨みましょう。

◇入試事務室から
一般入試前期/後期 日程のお知らせ

試験区分		願書受付期間	試験日	合格発表	入学手続期間
一般入試	前期日程 〈A日程〉 仙台会場 東京会場	平成8年1月12日(金)	平成8年2月3日(土)	平成8年2月12日(月) 午前11時	平成8年2月12日(月)
	〈B日程〉 大田原会場 名古屋会場 福岡会場	平成8年1月25日(木) 〔消印有効〕	平成8年2月6日(火)		平成8年2月15日(木) 〔消印有効〕
後期日程	大田原会場	平成8年2月23日(金) 平成8年3月8日(金) 〔消印有効〕	平成8年3月18日(月)	平成8年3月23日(土) 午前11時	平成8年3月25日(月) 平成8年3月28日(木) 〔消印有効〕

委員会報告

◇教務委員会

1) イブニングタイムの特別講座募集中

来年度の6時限目に開講するセミナー、講座を募集している。講座及びセミナーの対象者は地域在住者および学生である。現在、英語検定講座、情報処理2種講座(現在実施中)、看護特別講座などが検討中である。

2) 後期試験時間割、次年度の時間割、学習の手引きなど作成中。

3) 再試の可能性を検討中である。理由：前期試験の成績が「不可」であった学生が多くみられた。

◇学生委員会

委員会開催日：11月9日、11月27日(交通安全講習会)
審議内容：日本育英会後期奨学生の推薦

交通安全講習会の実施

その他：11月27日、大田原警察署交通課長、永野警部をお招きし、大田原周辺の交通事情について講演していただきました。ヘルメット、シートベルトの大切さはもちろんのこと、人間教育の大切さ、次世代に対する交通教育の必要性も話されました。なお、管内では追突、交差点内の事故が80%とのこと。

これから、寒く、暗くなりますが、どうかお気を付けて。

◇国際交流委員会

コ・メディカルの教育現場の代表としてのIUHW
来る1月16日、JICA公衆衛生教育セミナー参加者一行(10数ヶ国から18名)が、日本のコ・メディカルの教育現場視察のため当大学を訪問の予定です。

このセミナーは、開発途上国における公衆衛生行政とそれを担う人材の養成に関し、国家レベルでのプログラムの策定、実施及び評価を踏まえて人材養成を行うための方法論の紹介と演習を行い、同時に各国の実情を紹介、意見交換をし、プログラム強化に寄与することを目的としています。参加者の方々に本校の教育内容、諸施設を紹介できることを誇りに思います。

◇紀要委員会

第5回紀要委員会を11月30日に開き、前号でも報告致しましたように、紀要規則及び投稿規定を最終的に確定し、「国際医療福祉大学紀要」投稿論文の査読に関する方針とそれに伴う事務的な書類の整備を行いました。また、今年度末の出版を目指して、A4版2欄様式で写真、数式、英独仏語を含む言語など出版関連の必要事項の検討と、1冊100ページ程度、年1回、1千部または2千部発行の場合の必要経費の見積りを行いつつあります。各学科、各センターおよび事務局におきましては紀要創刊号の希望発行部数を5階事務局までお知らせ下さるようお願いいたします。

◇図書委員会

去る11月30日(木)下記の事項について検討した。

1. 平成8年度外国雑誌並びに和雑誌の購入について
2. 公費(研究費)購入図書の登録について
3. 平成8年度分和・洋雑誌の追加について
4. 平成8年度分図書購入予算について

冬期休業期間中の図書館スケジュールについて

12月22日(金)迄 通常通り9:00~19:00

12月25日(月)~12月28日(木)休業期間につき開館
時間短縮9:00~17:00(閲覧のみ)

12月29日(金)~1月6日(土)年末年始のため休館

1月8日(月)~1月26日(金)試験期間のため開館
延長時間9:00~20:00

図書館受入図書

11月30日現在、寄贈図書についての受入は下記のとおりです。(順序は受入順)

大西基四夫様：野に咲くペロニカ、その他

黒澤三枝子様：水戸赤十字病院七十年史、その他
藤沢しげ子様：ともに生きる

荒井蝶子様：看護管理5巻(1995)-継続、その他

大谷学長：国際医療保健協力、その他

菅利信様：医療情報学7巻(1987)-継続

水巻中正様：厚生省研究、その他

獨協医科大学図書館様：図解医学事典、その他

城ヶ端初子様：プログラム学習 患者ケアの基礎

菅原洋子様：Logic and Language、その他

報 告

“カフカとカバラ”について清水教授に聞く

ドイツ語教授の清水先生が訳された“カフカとカバラ”が8月に出版されましたので先生に伺いました。「カフカは“審判”や“城”などの作品で日本でも知られていますが、カバラとはいったい何なのでしょうか？」

「カバラとは伝承という意味で、中世以降ユダヤの神秘主義的伝統・伝承の名称です。ウィーン生れのユダヤ人であるカフカがいかによくカバラを知っていたかというグレイツィンガーの論文を訳したものです。」

「300ページ以上もある大部のものですがどの位日数をかけられたのでしょうか？ 特に御苦労なされた点などお聞かせください。」

「大体一年半位かかったでしょうか。大変だったのは中に引用されているカバラにヘブライ語がたくさん入っていて、それも現在イスラエルで使われている近代ヘブライ語ではなく、昔の文語や宗教用語だったことです。」「どうもありがとうございました。」

お願いして図書館に一冊寄贈していただきました。

“カフカとカバラ”カール・エーリヒ・グレイツィンガー著、清水健次訳、叢書ユニベルシタス485、法政大学出版局、1995（文責 宮尾）

◇大田原市より委託の在宅ケアニーズ調査終了

「大田原市在宅ケアシステム構築のための支援事業」（大学側責任者：荒井蝶子看護学科長）の一環としての、在宅療養者・児の訪問ニーズ調査を実施しました。10月中旬から11月下旬にかけて、本学の4学科（看護・理学・作業・言語）の教員と大田原市等のスタッフとがチームを組んで、90名近くの市民のお宅を訪問しました。この訪問を通じて、療養者・児の日常生活と介護者の様子についてのくわしい情報が得られました。来年度は、この情報にもとづいて、パイロットケア事業を実施します。写真は訪問調査の一コマです。



学科・センターだより

◇看護学科

「サンタが街に出かけます」

師走に入り街は早くもクリスマスモードです。看護学科では夏の見学実習でお世話になった老人施設や保育園を訪問しようと、学生は大張り切りです。クリスマスカードや、プレゼントの品をただ今製作中です。サンタの衣装も自作自演ということで、材料費のキャンバ次第では複数のサンタさんが誕生するかも。今年

最後のイベントですから、教員も全面協力です。訪問先の方々の明るい笑顔を思い浮かべながら、着々と準備進行中です。その模様をカメラでパチリ。サンタの袋が大入りになるよう学内の皆さんの支援を期待しています。



真心が1つ1つ形になっていく

◇“理学”大田原マラソン征す!?

・丸山学科長走る!

師走とは正にこのこと。10kmを1時間で見事完走。

来年はフルマラソンにトライするとか。

・川田路子さん42.195km完走!

3時間43分で女子の部20位に入りました。(やるねー)

・樋口善英くん「栃木県青年の船団員として上海、杭州、蘇州に文化交流してくる」中国の大学生との親睦も深まりました。

・委員長「駅伝」走る。

委員長こと鈴木康文くんが11月19日開催の第7回福島駅伝にてブッチギリの新記録で区間賞獲得!

◇作業療学科

現在、作業療学科の学生は作業技術学、作業基礎学特論の授業で様々な作品作りに挑戦しています。革細工、籐細工、織物、七宝焼き等、学生の個性を生かした作品が出来つつあります。また、簡単に加工出来る素材を用いてのシャワーチェア、ポータブルトイレ用フレーム等の作成も行われ、すぐに臨床で使えるような作品が出来上がりました。

陶芸、木工ではその道の専門家である外来講師の先生の指導で、これまた立派かつユニークな作品が出来つつあります。

興味ある方、是非作品の見学にいらしてください。

愛しい“My耳型”完成!

11月29日言語聴覚障害学概論の授業で、各自の耳型を採取した。これは本来補聴器を作るためのものだが、今回は両耳に詰めて聴覚障害者の生活を体験するために用いられた。ペンライトで互いの耳を覗き、綿球をググッと鼓膜近くまで入れ、そこへ菌型を採る時のような印象剤を注入するのだが(図)、青ざめる人あれば、至福の笑み浮かべる人なり?ともあれ8分待てば、世界にひとつしかない“My耳型”の完成だ。薄紫色のデビル耳の学生を見かけたらぜひ声を掛けてみてほしい(もちろん授業中つけてる人はいないと思うが…)。



◇放射線・情報科学科

学科全員で「普通救命講習」を受講しました。

11月9日(木)午前中に学生121名(見学者2名を含む)が体育館に集合、心肺蘇生法を中心として命を救うための救急処置に取り組みました。当日はかなりの寒さでしたが、それも吹き飛ばす熱意で実習を行い、大田原地区広域消防本部(大田原消防署など)からおいでいただいた8名の指導員(救急隊員で資格を持つ方)からもお褒めの言葉をいただきました。終了後見学者以外の全員に永井 全 消防長から普通救命講習修了証が授与されました。学科長以下教員からの参加者もあり有益な半日を過ごしました。

教員紹介

(毎号、各学科・センターから1名ずつご紹介頂きます。)

①所属・職位、②生年、③出身校、④専門分野、⑤直前の勤め先、⑥主要著書・論文、⑦本校における担当科目、⑧趣味

金井-Pak 雅子(かない パック まさこ)



①看護学科・助教授、②1952年、③ハワイ大学大学院、④看護管理学、⑤東邦大学医療短期大学、⑥看護ケアの経済評価、看護の経済的評価に関する考察、看護の質の向上策に関する研究、米国の看護教育、Karoshi Death from over work、客観式試験問題の信頼性と項目分析のプログラム開発、The Development of a Conceptual Framework on Attitudes Towards the Elderly、⑦健康管理論Ⅰ、健康保健概論Ⅰ、看護実習Ⅰ、臨床看護論Ⅱ、研究Ⅰ等、⑧ピアノ、花道、絵画

南井紀子(みなみい のりこ)



①語学教育センター・助教授、②1943年、③国際基督教大学大学院教育学研究科、④英語教育、英語学、音声学、⑤東京女子大学現代文化学部、⑥The Grammatical Nature of the Infinitive and its Function、(産能大学出版) Travel Abroad、⑦Reading、総合英語、⑧まずはテニス、そして美味しいものを食べて、ゆっくり寝ること——でもなかなかできませんね

星名利文(ほしな としふみ)

①放射線・情報科学科・助手、②11月3日生まれ(年齢 $20 + \alpha$: $\alpha \approx 3$; 本人の主張: 未確認)、③東京理科大学、同専攻科、④放射線物理学、放射線計測学、



⑤城西医療技術専門学校、⑥砂地盤の液化化モデルの実験、二重エネルギーX線吸収法による骨塩定量法の基礎的検討、⑦物理学実験、放射線写真学実験、⑧スポーツなら何でも、特に軟式テニス、スキーと今までは、書くことにしていたが、アキレス腱を二度も切り、膝を痛めている現在、運動は何もしていない

谷口敬道(たにぐち たかみち)



①作業療法学科・助手、②昭和40年、③清瀬リハ、東京理科大学、日本大学大学院理工学研究科医療・福祉工学専攻博士前期課程、④重症心身障害、福祉機器関係、⑤重症心身障害児施設毛呂病院光の家、⑥重症心身障害児・者の遊びと感覚運動的知能との関係について、⑦実習等、⑧遊ぶことなら何でも

事務局職員紹介(総務課)

総務課には、総務・秘書係と人事・経理係があります。総務・秘書係では、文書管理、行事の企画立案および実施、日程調査等を行っており、人事・経理係では、経理事務全般、教職員の福利厚生および通勤・出張等に関する業務を行っております。



後列左より高石、大塚、吉成
前列左より市橋、小川、手塚

(①氏名 ②出身地 ③趣味)

総務課：①高石和秀、②静岡県下田市、③魚釣
人事・総務係：①吉成一夫、②栃木県黒羽町、③旅行
①小川敦子、②栃木県大田原市、③生け花

総務・秘書係：①大塚浩孝、②福岡県筑後市、③旅行
①市橋由香、②埼玉県狭山市、③音楽鑑賞
①手塚祥子、②栃木県氏家町、③山歩き

サークル紹介

華道サークル

月ごとに学生課の入口を少し季節で演出させてもらっています華道同好会“創華（はなつくる）”は、梅雨明けの7月からX'masシーズンの今月まで四季のながれとし人ひとりのもつ創造性で空間を充たしてきました。



宗派も経験も問わない、あふれる創造力と花や草木への想いを技として創っていこうとするものです。

こうした一歩一歩の歩みとともに、個展や地域展覧会への参加、そして国際交流など、この日本の文化を術にひそやかに軌跡を残したいと思っています。

合唱部

前期試験中に、学食の前で日なたほっこをしながら、みんなで“乾杯”を歌ったのが合唱部の始まりです。



10月から活動

を始めました。現在メンバーは25人。ほぼ全員が体育会系のサークルとかけもちなので、音楽的な技術はともかく、取敢えず気合いで歌っています。

誰でも知っているいわゆる不滅の名曲を練習して、いずれは施設を慰問することが目標です。毎週月曜日、18時からE101教室で練習しています。歌の好きな方、気軽に参加して下さい。ちなみに、英語科の宮尾先生、田中先生、溝口先生もメンバーです。

IUHW Balloon Club

「わぁー、たかい／たかい!!」「おーい」「何が見えるー?」「山!」「〇〇君の顔!!」長野県松本市でのボランティア飛行でのひとコマです。



“日本中の空が飛べるらしい”“オーナーはやさしい人ばかりらしい”“ボランティア飛行をやるきっかけを探しているらしい”「らしい」ことだらけで始まったBallon Club。集合時間はいつも日の出前。「飛びたい、でも寝てたい、でもやっぱり飛びたい」と、飛ぶか寝るかかの選択に悩みながらも、ボランティア係留・各地での大会と昼夜を問わず動きまわっています。

リレーエッセイ

今思うこと

樺澤一之

早いもので国際医療福祉大学に赴任しまして8カ月程たちましたが、昨年までの生活を振り返りますと、今の生活がどこか違う世界にいる気がします。10数年近くも、御茶の水の聖橋のアーチを見ながら神田川沿いに順天堂にかよいました。明るいうちは窓から見える景色はビルまたビル、暗くなるとビルの照明・ネオンの洪水と化します。仕事は病院情報システムの研究・開発とお守りであり緊張を強いられ、ストレスの多いものでありました。こちらに来て最初の思ったことは「山が見える」ということでした。生まれたところが新潟で、飯豊連峰を遠くに眺めながら育ったことから故郷に帰った気がして、那須の山々に小さい頃の思い出を重ね合わせ、何か懐かしさを感じました。当学では、前職の仕事の内容と異なって「teaching」ということが主になり、まごつき・大変に緊張もしましたが、昔の経験（生体計測講義や生理学実習などを担当していた）を紐解き何とか前期授業を終えることが出来ました。人に教えるということの難しさを実感しているこの頃です。

次回執筆：細井良三（所属：総合教育センター）

編集後記

今年もいよいよあと残すところ、数日になりました。皆さんにとって、どんな年であったでしょうか。国際医療福祉大学の開学、そして本校へ入学や赴任など今年は、生涯忘れられない激動の年であったことと想います。

那須の山々はすっかり冬の装いになり、大田原に吹く風もとても冷たくなりました。自然界は、新年を迎える準備がすっかりできたようです。皆さんも風邪など引かないようお身体に気をつけて、良いお正月をお迎え下さい。

(星名 利文)